



# JFE グループ CSR報告書 2019

環境データ集

## CONTENTS

- 01 報告対象範囲
- 02 組織概要

### JFEグループ

- 03 ISO14001取得の状況/JFEグループの環境会計
- 04 JFEグループのCO<sub>2</sub>排出量
- 05 JFEグループのリサイクル事業の展開
- 06 JFEグループのリサイクル事業一覧

### JFEスチール

- 07 マテリアルフロー
- 09 投入資源/供給製品
- 10 リサイクル資源/CO<sub>2</sub>排出量およびエネルギー使用量
- 12 排出物

### JFEエンジニアリング

- 22 投入資源/供給製品
- 23 CO<sub>2</sub>排出量およびエネルギー使用量
- 24 環境負荷低減技術/排出物/化学物質管理
- 27 各部門・事業所ごとの廃棄物発生・処分状況

### JFE商事

- 29 電力使用量およびCO<sub>2</sub>排出量/投入資源

- 30 独立第三者の保証報告書
- 31 環境省「環境報告ガイドライン2018」対照表

本誌は「JFEグループ CSR報告書2019」の報告内容を補足するため  
事業会社3社の環境対策に関するさまざまなデータや  
JFEグループのリサイクル事業に関するデータを掲載しています  
当社の環境への取り組みをより深くご理解いただくための補遺版としてご覧ください



対象期間

2018年度(2018年4月1日～2019年3月31日)

対象組織

1. JFEホールディングス(株)とその事業会社である以下の3社

- JFEスチール(株)
- JFEエンジニアリング(株)
- JFE商事(株)

2. 次のデータについては、以下に示す「集計対象の主要国内外グループ会社」も対象としています。

【環境データ集計対象】

- ・ ISO14001取得状況
- ・ CO<sub>2</sub>排出量
- ・ エネルギー使用量(JFEスチールグループ、JFEエンジニアリンググループ)
- ・ SO<sub>x</sub>、NO<sub>x</sub>排出量(JFEスチールグループ)
- ・ 工業用水受入量(JFEスチールグループ)
- ・ 水使用量(JFEエンジニアリンググループ)
- ・ COD(JFEスチールグループ、JFEエンジニアリング)
- ・ PRTR届出物質排出量・移動量(JFEスチールグループ、JFEエンジニアリンググループ)
- ・ VOC排出量(JFEスチールグループ)

● JFEスチールグループ

JFEスチール(株)および以下の国内外連結子会社30社(計31社)

【国内25社】

JFEミネラル(株)、水島合金鉄(株)、JFEマテリアル(株)、千葉リバーメント(株)、水島リバーメント(株)、JFE精密(株)、JFEプラリソース(株)、JFE条鋼(株)、JFE建材(株)、JFE鋼板(株)、JFEコンテナ(株)、JFE溶接鋼管(株)、JFE大径鋼管(株)、ガルバテックス(株)、JFE継手(株)、JFEテクノワイヤ(株)、JFE鋼材(株)、JFE物流(株)、JFEケミカル(株)、JFEライフ(株)、ジェコス(株)、JFEロックファイバー(株)、JFE建材フェンス(株)、J-ロジテック(株)、ケーブラシート(株)

【海外5社】

Nova Era Silicon、JFE Steel Galvanizing(Thailand) Ltd.、Thai Coated Steel Sheet Co., Ltd.、Philippine Sinter Corporation、PT. JFE STEEL GALVANIZING INDONESIA

● JFEエンジニアリンググループ

JFEエンジニアリング(株)および以下の国内連結子会社10社(計11社)

J&T環境(株)、JFE環境サービス(株)、北日本機械(株)、東北ドック鉄工(株)、JFEアクアサービス機器(株)、富士化工(株)、あすか創建(株)、JFEパイプライン(株)、JFEテクノス(株)、(株)Jファーム

● JFE商事グループ

JFE商事(株)および以下の国内外鋼材加工会社(連結子会社)33社(計34社)

【国内19社】

JFE商事電磁鋼板(株)\*、JFE商事コイルセンター(株)、JFE商事甲南スチールセンター(株)、JFE商事ブリキセンター(株)、愛知管材工業(株)、(株)九州テック、甲南プランキングサービス(株)、新日本工業(株)、大興興業(株)、東洋金属(株)、栃木シャーリング(株)、内外スチール(株)、長野製罐(株)、新潟スチール(株)、日本磁性材工業(株)、北陸興業(株)、北陸スチール(株)、水島鋼板工業(株)、水島メタルプロダクツ(株)

※ 2016年度以前はJFEスチールグループとしてデータを集計

【海外14社】

東莞川電鋼板製品有限公司、広州川電鋼板製品有限公司、浙江川電鋼板加工有限公司、江蘇川電鋼板加工有限公司、JFE SHOJI STEEL PHILIPPINES, INC.、CENTRAL METALS(THAILAND) LTD.、STEEL ALLIANCE SERVICE CENTER CO., LTD.、JFE SHOJI STEEL VIETNAM CO., LTD.、JFE SHOJI STEEL HAI PHONG CO., LTD.、JFE SHOJI STEEL MALAYSIA SDN. BHD.、PT. JFE SHOJI STEEL INDONESIA、JFE SHOJI STEEL INDIA PRIVATE LIMITED、VEST INC.、JFE SHOJI STEEL DE MEXICO, S.A. DE C.V.

## 組織概要

### JFEスチール

#### JFEスチール株式会社

- 本社所在地：〒100-0011 東京都千代田区内幸町二丁目2番3号
- TEL：03-3597-3111
- 売上収益(連結)：2兆8,306億円 ●従業員数(連結)：44,975名

#### 主な製造拠点



##### 東日本製鉄所(千葉地区)

〒260-0835 千葉県千葉市中央区川崎町1番地  
TEL：043-262-2024 FAX：043-262-2967

##### ●主要事業

熱延鋼板・鋼帯、冷延鋼板・鋼帯、ステンレス鋼板・鋼帯、  
表面処理鋼板・鋼帯、UOE鋼管、鉄粉、溶材の生産



##### 西日本製鉄所(倉敷地区)

〒712-8511 岡山県倉敷市水島川崎通り1丁目  
TEL：086-447-2020(代表)  
TEL：086-447-2102(見学センター受付)  
FAX：086-447-2131

##### ●主要事業

熱延鋼板、冷延鋼板、表面処理鋼板、電磁鋼板、厚鋼板、  
鋼矢板、H形鋼、レール、棒鋼、線棒、UOE鋼管



##### 東日本製鉄所(京浜地区)

〒210-0868 神奈川県川崎市川崎区扇島1番地1  
TEL：044-322-1111(代表) FAX：044-322-1500

##### ●主要事業

厚鋼板、熱延鋼板、冷延鋼板、亜鉛メッキ鋼板、  
高機能薄鋼板類や継目無鋼管、溶接鋼管の生産



##### 西日本製鉄所(福山地区)

〒721-8510 広島県福山市鋼管町1番地  
TEL：084-945-3118 FAX：084-945-3808

##### ●主要事業

熱延鋼板、冷延鋼板、表面処理鋼板、電磁鋼板、厚鋼板、  
鋼矢板、H形鋼、レール、棒鋼、線棒、UOE鋼管



##### 知多製造所

〒475-8611 愛知県半田市川崎町一丁目1番  
TEL：0569-24-2101(総務室) FAX：0569-24-2035

##### ●主要事業

機械構造用鋼管、自動車用鋼管、材料管、一般構造用鋼管、  
配管用鋼管などの生産



##### 仙台製造所

〒983-0001 宮城県仙台市宮城野区港一丁目6番1号  
TEL：022-258-5511 FAX：022-258-5540

##### ●主要事業

棒鋼製品(丸鋼、パイプコイル)、線材製品などの生産

### JFEエンジニアリング

#### JFEエンジニアリング株式会社

- 東京本社所在地：〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目8番1号(丸の内トラストタワーN館19階)
- TEL：03-6212-0800(代表) FAX：03-6212-0802
- 横浜本社所在地：〒230-8611 神奈川県横浜市鶴見区末広町二丁目1番地
- TEL：045-505-7435(代表) FAX：045-505-8902 TEL：045-505-8953(広報担当)
- 売上収益(連結)：4,858億円 ●従業員数(連結)：9,569名

#### 主な製造拠点



##### 鶴見製作所

〒230-8611 神奈川県横浜市鶴見区末広町二丁目1番地  
TEL：045-505-7435 FAX：045-505-8902

##### ●主要事業

エンジン、シールド掘進機、ボイラー・タービン、  
水道施設などの製作



##### 津製作所

〒514-0393 三重県津市雲出鋼管町1番地  
TEL：059-246-2010 FAX：059-246-2792

##### ●主要事業

橋梁、港湾構造物など鋼構造物の製作

### JFE商事

#### JFE商事株式会社

- 東京本社所在地：〒100-8070 東京都千代田区大手町一丁目9番5号(大手町フィナンシャルシティ・ノースタワー)
- TEL：03-5203-5053 FAX：03-5203-5289
- 大阪本社所在地：〒530-8318 大阪府大阪市北区堂島一丁目6番20号(堂島アバンザ)
- TEL：06-4795-7000 FAX：06-4795-7400
- 売上収益(連結)：1兆1,258億円 ●従業員数(連結)：7,498名

※JFEグループは、当期より従来の日本基準(JGAAP)に替えて国際財務報告基準(IFRS)を適用しています。

# JFEグループ

## ISO14001取得の状況

JFEスチールおよびJFEエンジニアリングのすべての製造拠点とJFE商事の国内全事業所で、ISO14001を取得しています。また、グループ会社における取得状況は以下の通りです。

### ISO14001取得会社一覧(一部事業所などでの取得も含む)

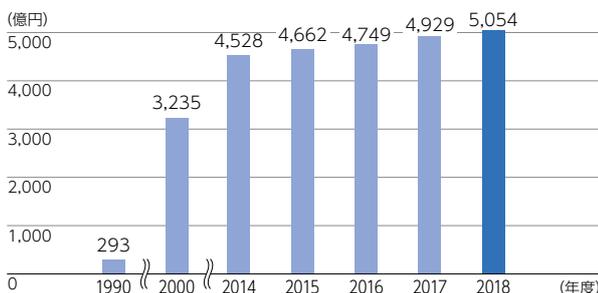
JFEスチール(株)	JFEミネラル(株)	JFE物流(株)
	水島合金鉄(株)	JFEテクノリサーチ(株) <sup>*1</sup>
	JFEマテリアル(株)	JFEケミカル(株)
	JFEプラリソース(株)	JFE建材工事(株) <sup>*1</sup>
	JFE条鋼(株)	JFE協和容器(株) <sup>*1</sup>
	JFE鋼板(株)	(株)ジャパンペール <sup>*1</sup>
	JFEコンテナ(株)	JFE瀬戸内物流(株) <sup>*1</sup>
	JFE溶接鋼管(株)	広州JFE鋼板有限公司 <sup>*2</sup>
	JFE継手(株)	Thai Coated Steel Sheet Co., Ltd.
	大和鋼帯(株) <sup>*1</sup>	Philippine Sinter Corporation
JFEプラントエンジ(株) <sup>*1</sup>		
JFEエンジニアリング(株)	J&T環境(株)	富士化工(株)
	JFEアクアサービス機器(株)	あすか創建(株)
JFE商事(株)	JFE商事コイルセンター(株)	JFE商事マテック(株) <sup>*1</sup>
	JFE商事甲南スチールセンター(株)	川商フーズ(株) <sup>*1</sup>
	大清興業(株)	ケー・アンド・アイ特殊管販売(株) <sup>*1</sup>
	東洋金属(株)	(株)トーセン <sup>*1</sup>
	内外スチール(株)	星金属(株) <sup>*1</sup>
	日本磁性材工業(株)	東莞川電鋼板製品有限公司
	北陸スチール(株)	広州川電鋼板製品有限公司
	水島鋼板工業(株)	浙江川電鋼板加工有限公司
	水島メタルプロダクツ(株)	江蘇川電鋼板加工有限公司
	JFE商事電磁鋼板(株)	JFE SHOJI STEEL PHILIPPINES, INC.
	JFE商事薄板建材(株) <sup>*1</sup>	CENTRAL METALS (Thailand) Ltd.
	JFE商事エレクトロニクス(株) <sup>*1</sup>	JFE SHOJI STEEL VIETNAM CO.,LTD.
	JFE商事鋼管管材(株) <sup>*1</sup>	JFE SHOJI STEEL HAI PHONG CO.,LTD.
	JFE商事サービス(株) <sup>*1</sup>	JFE SHOJI STEEL MALAYSIA SDN. BHD.
	JFE商事資機材販売(株) <sup>*1</sup>	PT. JFE SHOJI STEEL INDONESIA
	JFE商事鉄鋼建材(株) <sup>*1</sup>	JFE SHOJI STEEL DE MEXICO,S.A. DE C.V.
	JFE商事テールワン(株) <sup>*1</sup>	JFE SHOJI STEEL INDIA PVT. LTD.
	JFE商事ビジネスサポート(株) <sup>*1</sup>	

※1 環境データの集計対象範囲外 ※2 持分法適用会社

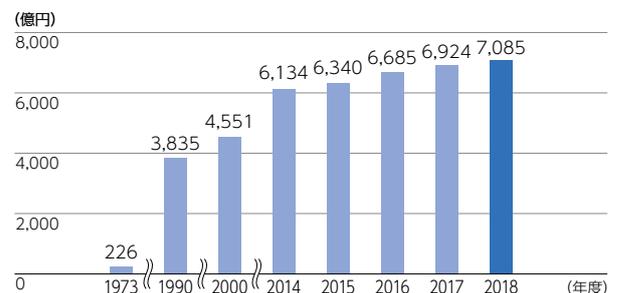
## JFEグループの環境会計

### ●環境会計

#### 省エネルギー投資累計額



#### 環境保全投資累計額



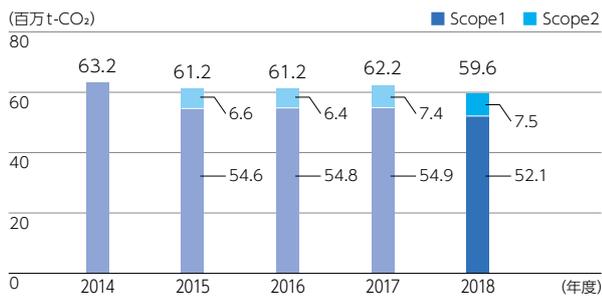
## 環境保全コストの内訳

主な内容		2017年度		2018年度	
		投資額(億円)	費用額(億円)	投資額(億円)	費用額(億円)
マネジメント	環境負荷の監視・測定、EMS関連、環境教育・啓発など	2	25	3	27
地球温暖化防止	省エネルギー、エネルギー有効利用など	180	278	124	286
資源の有効活用	工業用水の循環	28	171	24	178
	自社内発生物のリサイクル、廃棄物管理など	0.9	53	17.7	48
環境保全	大気汚染の防止	191	356	99	316
	水質汚濁の防止	16	92	18	100
	土壌汚染、騒音、振動、地盤沈下の防止	0.2	7	0.0	6
その他	賦課金など	-	14	-	16
研究開発	環境保全・省エネルギー・地球温暖化防止のための技術開発	14	117	12	129
社会活動	自然保護・緑化活動支援、情報公開、展示会、広報など	-	7	-	7
合計		433	1,121	298	1,113

集計範囲：JFEスチール(株)、ただし研究開発のみJFEエンジニアリング(株)を含む

## JFEグループのCO<sub>2</sub>排出量

### JFEグループのCO<sub>2</sub>排出量推移



### 2018年度の購入電力のCO<sub>2</sub>排出係数

- JFEスチール：日本鉄鋼連盟の低炭素社会実行計画における2017年度購入電力のCO<sub>2</sub>排出係数
- JFEスチールの国内連結子会社、JFEエンジニアリンググループ、JFE商事グループ：各年度の電気事業者別調整後排出係数
- 海外：GHGプロトコルの各国排出係数

※ JFEスチールの非エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量を含む

※ 2018年度からJFEスチールの子会社およびJFEエンジニアリングの子会社の非エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量を含む

### CO<sub>2</sub>排出量のグループ別内訳(2018年度)

JFEスチールグループ	JFEエンジニアリンググループ	JFE商事グループ
59,357千t-CO <sub>2</sub>	212千t-CO <sub>2</sub>	36千t-CO <sub>2</sub>
99.58%	0.36%	0.06%

集計範囲：JFEスチール、国内外主要子会社30社  
JFEエンジニアリング、国内主要子会社10社  
JFE商事、国内外主要子会社33社 総計76社

### JFEグループのScope 3排出量

カテゴリ	CO <sub>2</sub> 排出量(千t-CO <sub>2</sub> )	算出方法
	2018年度	
1 購入した製品・サービス	13,371	原料、資材、作業外注の購入価格にCO <sub>2</sub> 原単位*を乗じて算定
2 資本財	1,180	設備投資額にCO <sub>2</sub> 原単位*を乗じて算定
3 スコープ1、2に含まれない燃料及びエネルギー関連活動	370	電力・蒸気の年間使用量にCO <sub>2</sub> 原単位*を乗じて算定
4 輸送、配送・上流	491	省エネ法報告の輸送距離にCO <sub>2</sub> 原単位*を乗じて算定
5 事業から出る廃棄物	100	種別ごとの廃棄物量にCO <sub>2</sub> 原単位*を乗じて算定
6 出張	4	従業員数にCO <sub>2</sub> 原単位*を乗じて算定
7 雇用者の通勤	49	従業員数にCO <sub>2</sub> 原単位*を乗じて算定
15 投資	1,186	グループで20%以上株式保有する省エネ法報告義務のある会社からの排出量に株式保有率を乗じて算定

集計範囲：〈カテゴリ1,2,3,4,5〉 JFEスチール、JFEスチール国内連結子会社25社、JFEエンジニアリング、JFE商事  
〈カテゴリ6,7〉 JFEスチール、JFEスチール国内連結子会社25社、JFEエンジニアリング、JFEエンジニアリング国内連結子会社10社、JFE商事  
〈カテゴリ15〉 ジャパンマリンユナイテッド、JFEスチールの持分法適用会社9社(国内7社、海外2社)

※ 出典：環境省「グリーン・バリューチェーンプラットフォーム等

## JFEグループのリサイクル事業の展開

### リサイクル処理事例(2018年度)

内容	処理量
2019年度容器包装プラスチックの落札	10万トン
使用済みプラスチックの製鉄プロセス利用*	12万トン
蛍光灯処理	2,000万本
廃家電など	50万台

※ 製鉄プロセスにて直接利用：5万t  
 ガス回収し製鉄所の原燃料として利用：7万t



JFEグループ

JFEスチール

JFEエンジニアリング

JFE商事

# JFEグループのリサイクル事業一覧

## JFEグループのリサイクル事業一覧

地区	会社名および工場・事業所など	施設	施設所在地
札幌	札幌バイオフードリサイクル株式会社	食品廃棄物リサイクル施設	北海道札幌市東区中沼町45-53
仙台	J&T環境株式会社 仙台工場	仙台市プラスチック製容器包装ベール化施設 プラ材料リサイクル施設 蛍光灯リサイクル施設 リサイクルパレット製造施設 機密文書処理施設 RPF製造施設	宮城県仙台市宮城野区港1-6-1 同上 同上 同上 同上 宮城県宮城郡利府町しらかし台6-5-14
	利府工場		
鹿島	JFE条鋼株式会社	電炉リサイクル施設 直流アーク電気炉	茨城県神栖市南浜7
千葉	J&T環境株式会社 千葉リサイクルセンター 千葉バイオガスセンター	ガス化溶融炉 食品廃棄物リサイクル施設	千葉県千葉市中央区川崎町1 同上
	J&T環境株式会社 東京臨海エコクリーン	流動床ガス化溶融炉(産廃用) パーチカル炉(医廃用)	東京都江東区青梅3丁目地先 同上
川崎	J&T環境株式会社 扇島工場 川崎ペットボトルリサイクル工場 川崎エコクリーン	使用済みプラスチック原料化施設 ペットボトルリサイクル施設 キルン・ストーカ炉 固形廃棄物リサイクル施設	神奈川県川崎市川崎区扇島10 神奈川県川崎市川崎区水江町5-1 神奈川県川崎市川崎区扇島5-73ほか 同上
	JFEプラリソース株式会社 水江原料化工場 NFボード®製造工場	使用済みプラスチック原料化施設 NFボード®製造施設	神奈川県川崎市川崎区水江町699-23ほか 神奈川県川崎市川崎区水江町5-1
	JFEアーバンリサイクル株式会社 家電リサイクル工場	家電・OAリサイクル施設	神奈川県川崎市川崎区水江町6-1
横浜	J&T環境株式会社 横浜エコクリーン  ケミカル工場  鶴見蛍光灯リサイクル工場 横浜プラスチックリサイクル工場 金沢リサイクル工場	キルン・ストーカ炉 キルン式灰溶融炉 廃液・汚泥中間処理施設 乾電池・バッテリーリサイクル施設 蛍光灯リサイクル施設 横浜市プラスチック製容器包装ベール化施設 固形廃棄物リサイクル施設	神奈川県横浜市鶴見区末広町2-1-5ほか 同上 神奈川県横浜市鶴見区弁天町3-1 神奈川県横浜市鶴見区末広町2-1-8 同上 同上 神奈川県横浜市金沢区福浦1-14-5
	株式会社Jバイオフードリサイクル 横浜工場	食品廃棄物リサイクル施設	神奈川県横浜市鶴見区末広町2-1-5
倉敷(水島)	水島エコワークス株式会社	ガス化溶融炉	岡山県倉敷市水島川崎通1-14-5
	JFE環境サービス株式会社 倉敷工場	木質系廃棄物炭化施設	岡山県倉敷市水島川崎通1-14-1
	JFE条鋼株式会社	電炉リサイクル施設 直流アーク電気炉	岡山県倉敷市水島川崎通1-5-2ほか
福山	JFEプラリソース株式会社 福山原料化工場	使用済みプラスチック原料化施設	広島県福山市箕沖町113
	J&T環境株式会社 福山RPF工場 福山PMリサイクル工場 福山パレット工場 製鉄作業所	RPF製造施設 プラマテリアルリサイクル施設 リサイクルパレット製造施設 キルン型焼却炉 管理型最終処分場 廃液中和施設	広島県福山市箕沖町115-1 同上 同上 広島県福山市鋼管町1 同上 同上
	福山リサイクル発電株式会社	ごみ固化燃料ガス化(RDF)発電施設(操業)	広島県福山市箕沖町107-8
富山	JFEマテリアル株式会社	使用済み触媒などからの希少金属回収施設	富山県射水市庄西町2-9-38

# JFEスチール

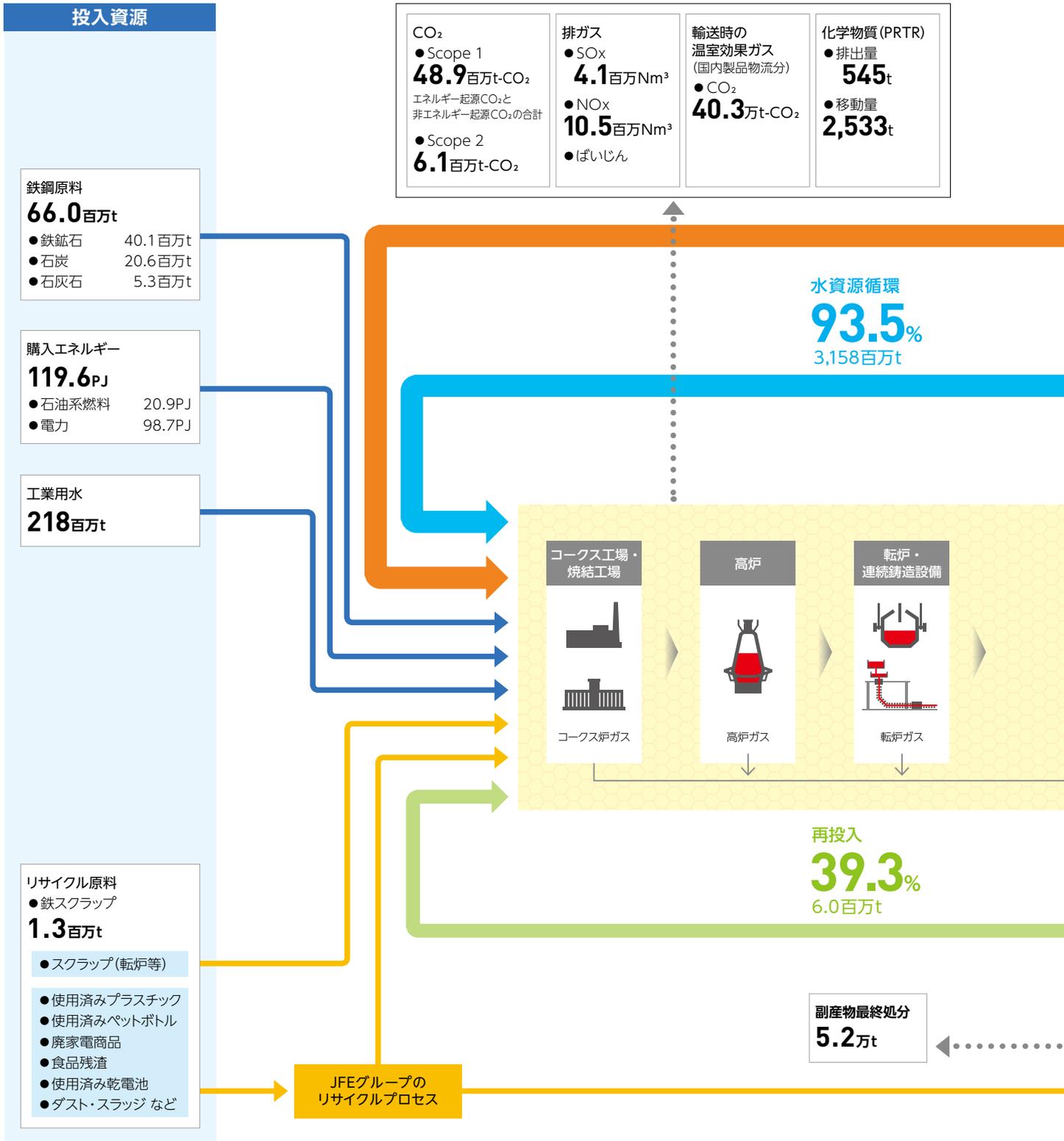
JFEグループ

JFEスチール

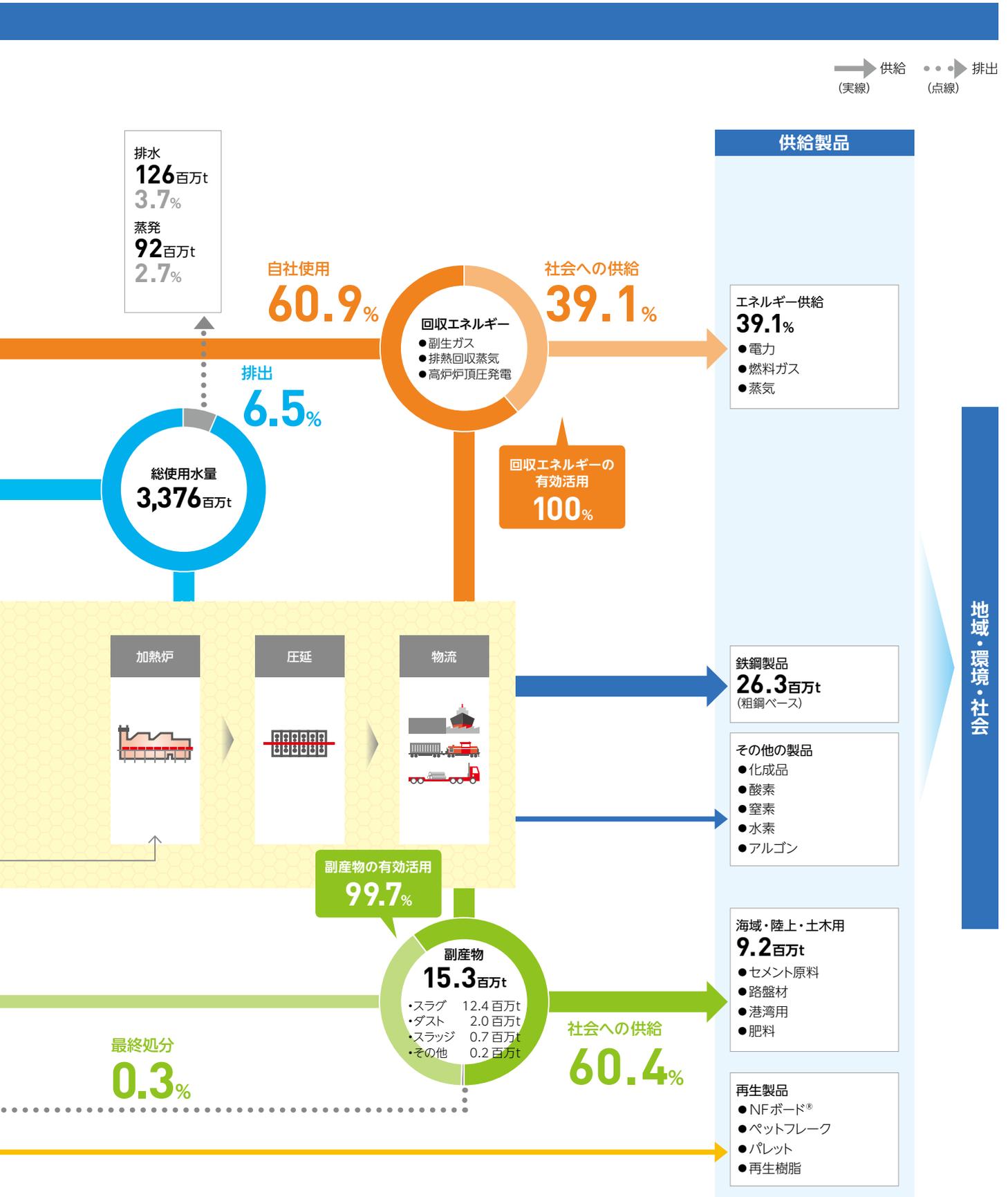
JFEエンジニアリング

JFE商事

## マテリアルフロー



JFEスチールは、製鉄プロセスにおける環境負荷の低減と資源の有効活用を進めています。生産工程で使用する水は**93.5%**を循環利用しており、鉄鋼スラグなどの副産物は**99.7%**を資源化しています。生産工程で生成する副生ガスは鋼材加熱用や自家発電用の燃料としているほか、社会に供給するエネルギーとして**100%**有効に活用しています。

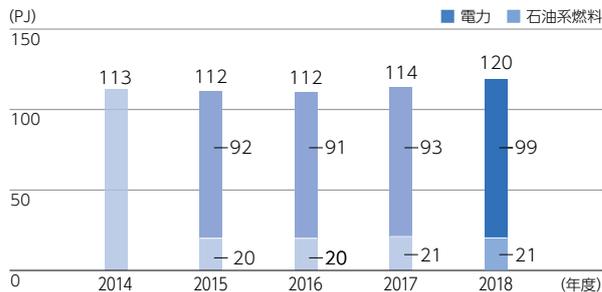


## 投入資源

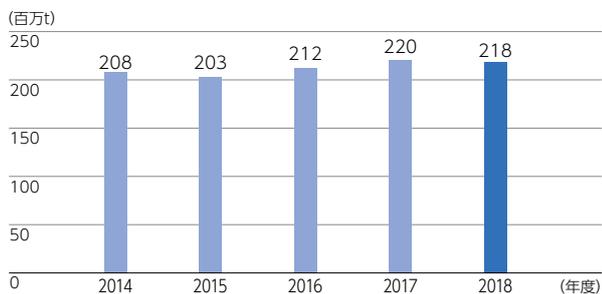
### 鉄鋼原料



### 購入エネルギー (電力および石油系燃料)



### 工業用水



### JFEスチールグループ子会社の工業用水等受入量

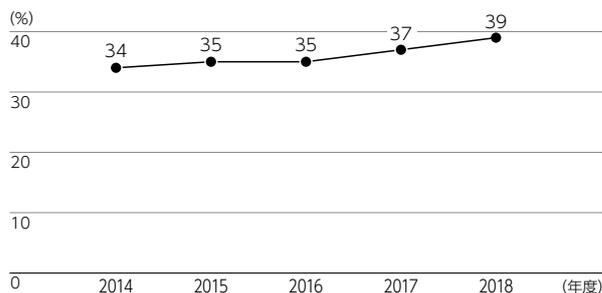
会社名	受入量 (m <sup>3</sup> )	会社名	受入量 (m <sup>3</sup> )
JFEケミカル	5,391,618	JFE建材フェンス	72,909
JFE条鋼	4,638,438	ジェコス	63,658
JFEマテリアル	3,483,462	JFE溶接鋼管	59,420
JFEミネラル	2,387,229	JFEロックファイバー	37,890
JFE鋼板	1,244,614	ケーブルシート	32,026
JFE精密	844,359	JFE鋼材	26,173
ガルバテックス	674,427	JFEアラリソース	17,649
水島合金鉄	451,622	水島リパーメント	14,988
JFEライフ	426,992	千葉リパーメント	10,978
JFEコンテナ	297,120	JFE継手	8,820
JFE物流	102,380	J-ロジテック	3,020
JFEテクノワイヤー	100,284	JFE大径鋼管	1,537
JFE建材	86,193	合計	20,477,806

## 供給製品

### 鉄鋼製品



### 回収エネルギーの外部供給率



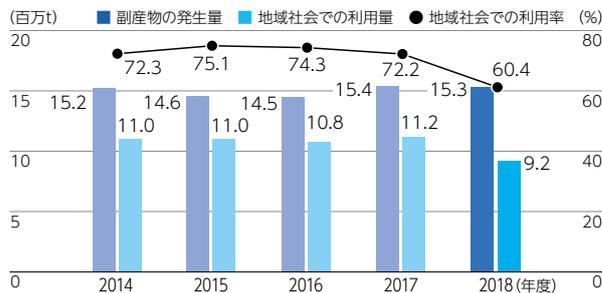
### 再生製品

- NFボード®
- ペットフレック
- パレット
- 再生樹脂

### その他の製品

- 化成品
- 酸素
- 窒素
- 水素
- アルゴン

### 海域・陸上・土木用材 (副産物からの利用)



## リサイクル資源

### 循環水



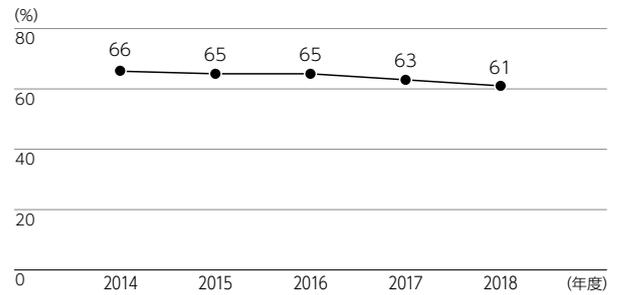
会社	循環水	循環率
グループ	—	—
※	314	91
※	280	93
※	289 (百万m <sup>3</sup> )	93 (%)

※ 集計範囲：JFEスチールの国内連結子会社25社

### 副産物



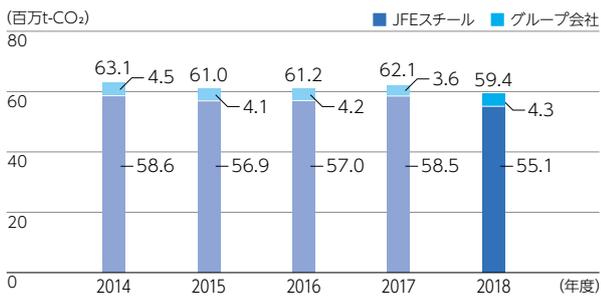
### 回収エネルギーの自社再利用率



## CO<sub>2</sub> 排出量およびエネルギー使用量

### ● JFEスチールグループの状況

#### CO<sub>2</sub>排出量推移



集計範囲：JFEスチール、国内外主要子会社30社

※ JFEスチールの非エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量を含む。

※ 2018年度からJFEスチール子会社の非エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量を含む。

#### JFEスチールグループ子会社のCO<sub>2</sub>排出量(2018年度)

会社名	排出量 (単位：t-CO <sub>2</sub> )
JFEミネラル	1,073,561
JFE条鋼	626,108
水島合金鉄	316,314
JFEケミカル	266,271
JFE物流	172,683
JFEマテリアル	75,335
JFE鋼板	74,329
JFEロックファイバー	36,270
JFE継手	25,129
JFEプラリソース	17,176
水島リパーメント	12,877
JFEコンテナ	11,029
J-ロジテック	9,900
ガルパテックス	8,985
JFE建材	8,773
JFE溶接鋼管	7,255
JFEテクノワイヤー	7,168
JFE精密	6,973
ケーブラシート	6,262
JFEライフ	5,227
千葉リパーメント	3,813
JFE建材フェンス	3,794
JFE大径鋼管	3,506
ジェコス	3,212
JFE鋼材	1,277
海外(5社)	1,496,529
合計	4,279,756

#### JFEスチールグループ子会社のエネルギー使用量(2018年度)

会社名	使用量 (単位：GJ)
JFE条鋼	10,971,744
JFEミネラル	6,386,031
JFEケミカル	5,064,276
水島合金鉄	3,042,647
JFE物流	2,495,532
JFE鋼板	1,474,706
JFEマテリアル	1,238,860
JFEロックファイバー	529,568
JFE継手	389,637
JFEプラリソース	389,074
JFEコンテナ	228,964
JFE建材	219,947
JFE溶接鋼管	193,293
ガルパテックス	183,565
水島リパーメント	162,414
JFEテクノワイヤー	148,188
J-ロジテック	144,376
JFEライフ	140,431
千葉リパーメント	138,585
JFE精密	128,170
ケーブラシート	103,198
JFE建材フェンス	85,309
JFE鋼材	84,034
JFE大径鋼管	69,991
ジェコス	65,740
海外(5社)	20,046,513
合計	54,124,793

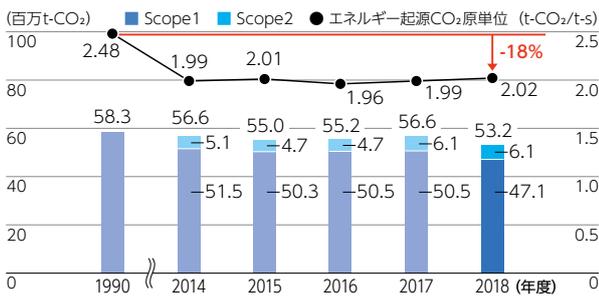
※ 端数調整のため合計は合致しません。

#### 2018年度の購入電力のCO<sub>2</sub>排出係数

- JFEスチール：日本鉄鋼連盟の低炭素社会実行計画における2017年度購入電力のCO<sub>2</sub>排出係数
- JFEスチール国内連結子会社：各年度の電気事業者別調整後排出係数
- 海外：GHGプロトコルの各国排出係数

● JFEスチールの状況

エネルギー起源のCO<sub>2</sub>排出量・原単位推移



2018年度の購入電力のCO<sub>2</sub>排出係数：日本鉄鋼連盟の低炭素社会実行計画における2017年度購入電力のCO<sub>2</sub>排出係数

エネルギー消費量・原単位推移



CO<sub>2</sub>原単位、粗鋼生産量の1990年度比増減率

(単位：%)

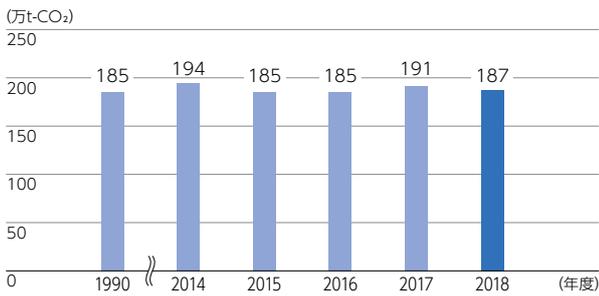
	2014	2015	2016	2017	2018
原単位	-20	-19	-21	-20	-18
粗鋼生産量	21	16	19	21	12

エネルギー原単位、粗鋼生産量の1990年度比増減率

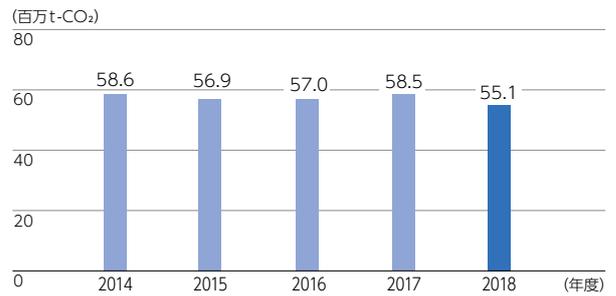
(単位：%)

	2014	2015	2016	2017	2018
原単位	-20	-20	-21	-21	-19
粗鋼生産量	21	16	19	21	12

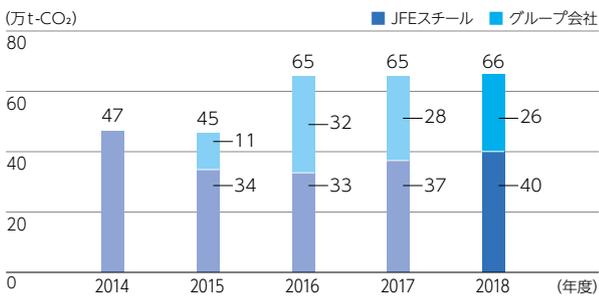
非エネルギー起源のCO<sub>2</sub>排出量推移



CO<sub>2</sub>総排出量(エネルギー起源+非エネルギー起源)



輸送時の温室効果ガス排出量



集計範囲：JFEスチールと荷主として省エネ法報告義務のある国内連結子会社11社  
 2015年度まではグループ会社分はトラックと鉄道のみ  
 2016年度からはトラック、鉄道、船舶も範囲に変更

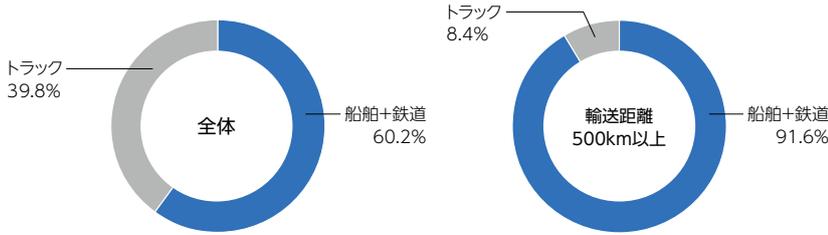
JFEグループ

JFEスチール

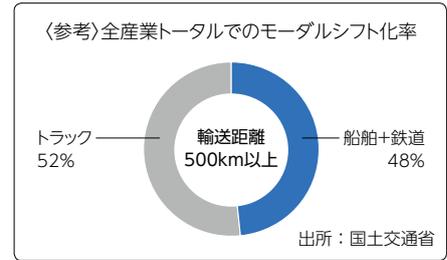
JFEエンジニアリング

JFE商事

## モーダルシフト化率(2018年度)



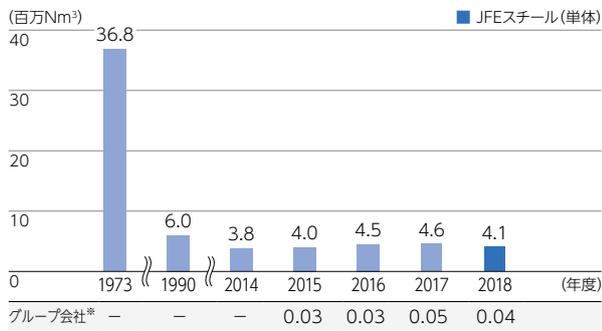
算出方法：輸送量(国内、製品、半製品、のべ数)での割合



## 排出物

### ● 大気への排出

#### SOx排出量推移

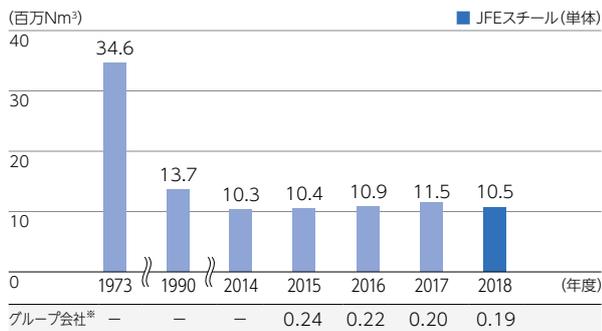


※ 集計範囲：JFEスチールの国内連結子会社13社

#### JFEスチールグループ子会社のSOx排出量

会社名	SOx (Nm³)	会社名	SOx (Nm³)
JFEマテリアル	10,846	ケーブルシート	205
JFEケミカル	8,455	JFEコンテナ	143
JFEミネラル	8,366	JFEプラリソース	134
JFE条鋼	5,362	千葉リパーメント	60
JFE鋼板	1,763	JFE建材	53
JFE精密	1,148	JFE継手	38
水島合金鉄	266	合計	36,839

#### NOx排出量推移



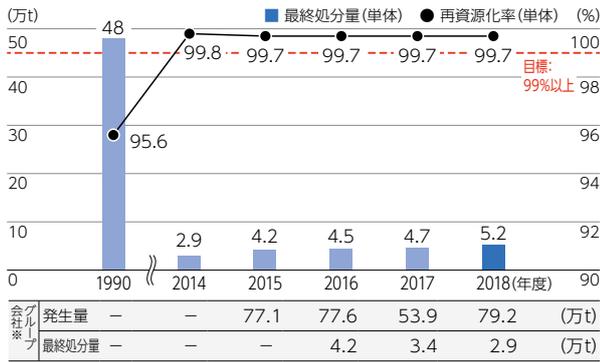
※ 集計範囲：JFEスチールの国内連結子会社13社

#### JFEスチールグループ子会社のNOx排出量

会社名	NOx (Nm³)	会社名	NOx (Nm³)
JFEミネラル	52,703	水島リパーメント	1,392
JFEケミカル	50,265	ガルバテックス	1,110
水島合金鉄	29,838	千葉リパーメント	932
JFEマテリアル	25,522	JFE継手	671
JFE鋼板	10,650	JFEプラリソース	540
JFE条鋼	9,476	JFE精密	187
JFE建材	2,050	合計	185,335

● 副産物最終処分

副産物の最終処分量・再資源化率推移



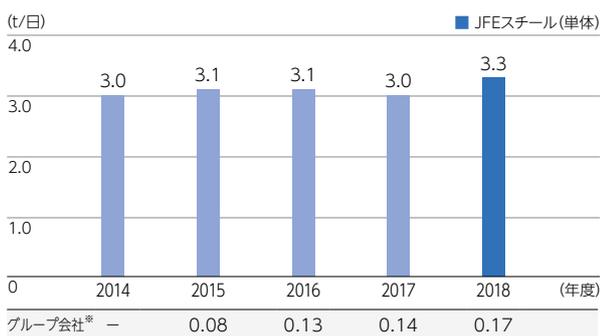
※ 集計範囲：JFEスチールの国内連結子会社25社

JFEスチールグループ子会社の副産物発生量と最終処分量

会社名	副産物発生量 (t)	最終処分量 (t)
JFE条鋼	207,806	2,270
JFEミネラル	204,736	105
水島合金鉄	129,518	16,729
JFEマテリアル	68,122	4,297
JFEプラリソース	43,349	576
JFE鋼板	37,736	25
JFE鋼材	21,767	7
ジェコス	21,589	418
JFE溶接鋼管	16,149	86
JFEロックファイバー	11,191	3,095
JFEコンテナ	7,532	273
JFE継手	7,371	0
JFE建材	5,135	39
ガルバテックス	4,109	640
JFE物流	1,783	280
JFEテクノワイヤー	1,116	38
千葉リパーメント	860	1
JFE建材フェンス	789	31
ケープラシット	759	1
JFEケミカル	168	98
JFEライフ	83	68
水島リパーメント	8	0
JFE精密	0	0
JFE大径鋼管	0	146
J-ロジテック	0	10
合計	791,677	29,234

● 水域への排出

COD (化学的酸素要求量) 推移



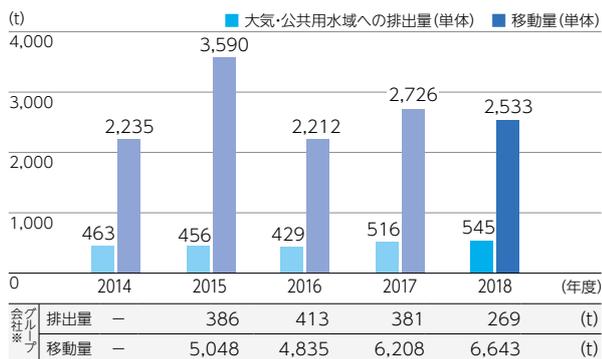
※ 集計範囲：JFEスチールの国内連結子会社12社

排水・蒸発量



## ● 化学物質管理

### PRTR届出物質の排出量・移動量推移



※ 集計範囲：JFEスチールの国内連結子会社18社

### VOC排出量推移



### PRTR届出全物質(全社)

(単位：t/年、ダイオキシン類はg-TEQ/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
1	亜鉛の水溶性化合物	0	12	0	0	0	0
15	アセナフテン	0.028	0	0	0	0	0
31	アンチモン及びその化合物	0	0.26	0	0	0	18
33	石綿	0	0	0	0	0	1.47
53	エチルベンゼン	67	0	0	0	0	19
80	キシレン	136	0	0	0	0	22
83	クメン	1.1	0	0	0	0	0
87	クロム及び三価クロム化合物	0.076	0.45	0	7.2	0	1,116
88	六価クロム化合物	0.0018	0.13	0	0	0	0.541
132	コバルト及びその化合物	0	0	0	0	0	0.002
144	無機シアン化合物	0	5.6	0	0	0	0
185	ジクロロペンタフルオロプロパン(HCFC-225)	42	0	0	0	0	0
186	ジクロロメタン	24	0	0	0	0	0
240	スチレン	10	0	0	0	0	0
242	セレン及びその化合物	0	0.17	0	0	0	1.9
243	ダイオキシン類	4.1	0.000003	0	0	0	0
262	テトラクロロエチレン	25	0	0	0	0	0
272	銅水溶性塩	0	0.067	0	0	0	0
281	トリクロロエチレン	1.1	0	0	0	0	0
296	1,2,4-トリメチルベンゼン	6.9	0	0	0	0	0.11
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	4.2	0	0	0	0	0
300	トルエン	78	0	0	0	0	1.5
302	ナフタレン	1.2	0	0	0	0	0.19
305	鉛化合物	0	0	0	0	0	300
308	ニッケル	0.0029	0	0	0	0	90
309	ニッケル化合物	0.0089	2.4	0	0	0	52
321	バナジウム化合物	0	0	0	0	0	18
333	ヒドラジン	0	0.19	0	0	0	0
340	ピフェニル	0.009	0	0	0	0	0
353	フタル酸ジエチル	0	0	0	0	0	1.4
374	ふっ化水素及びその水溶性塩	0	48	0	0	0	23
384	1-プロモプロパン	2	0	0	0	0	0
392	n-ヘキサン	0.0059	0	0	0	0	0
400	ベンゼン	17	0	0	0	0	0
405	ほう素化合物	0	20	0	0	0	3.9
406	ポリ塩化ピフェニル(PCB)	0	0	0	0	0	11
407	ポリ(オキシエチレン)＝アルキルエーテル	0	1.6	0	0	0	0
412	マンガン及びその化合物	0.0627	26	0	0	0	630
438	メチルナフタレン	0.033	0	0	0	0	0
453	モリブデン及びその化合物	0.0015	5.8	0	0	0	224
	小計	415.69	121.91	0	7.2	0	2,533.35
	合計		545				2,533

※ 合計にはダイオキシン類を除く

PRTR届出全物質(東日本製鉄所/千葉地区)

(単位:t/年、ダイオキシン類はg-TEQ/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
1	亜鉛の水溶性化合物	0	0.14	0	0	0	0
15	アセナフテン	0.028	0	0	0	0	0
53	エチルベンゼン	0.29	0	0	0	0	0
80	キシレン	0.62	0	0	0	0	0
87	クロム及び三価クロム化合物	0	0.3	0	0	0	1,000
88	六価クロム化合物	0	0.13	0	0	0	0.0011
185	ジクロロペンタフルオロプロパン(HCFC-225)	42	0	0	0	0	0
243	ダイオキシン類	0.031	0	0	0	0	0
272	銅水溶性塩	0	0.067	0	0	0	0
300	トルエン	2	0	0	0	0	0
302	ナフタレン	0.18	0	0	0	0	0
308	ニッケル	0	0	0	0	0	90
309	ニッケル化合物	0.002	1.8	0	0	0	18
333	ヒドラジン	0	0.19	0	0	0	0
340	ビフェニル	0.009	0	0	0	0	0
374	ふっ化水素及びその水溶性塩	0	39	0	0	0	23
400	ベンゼン	2.1	0	0	0	0	0
405	ほう素化合物	0	6.1	0	0	0	0
406	ポリ塩化ビフェニル(PCB)	0	0	0	0	0	4.8
412	マンガン及びその化合物	0.0077	0.74	0	0	0	93
438	メチルナフタレン	0.033	0	0	0	0	0
453	モリブデン及びその化合物	0	2.8	0	0	0	3.5
	小計	47.27	51.45	0	0	0	1,232.3
	合計		99				1,232.3

※ 合計にはダイオキシン類を除く

PRTR届出全物質(東日本製鉄所/京浜地区)

(単位:t/年、ダイオキシン類はg-TEQ/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
53	エチルベンゼン	2	0	0	0	0	1
80	キシレン	5	0	0	0	0	1.6
87	クロム及び三価クロム化合物	0.022	0	0	0	0	54
88	六価クロム化合物	0.0018	0	0	0	0	0
240	スチレン	0.12	0	0	0	0	0
243	ダイオキシン類	1.6	0	0	0	0	0
300	トルエン	16	0	0	0	0	1.4
302	ナフタレン	0.067	0	0	0	0	0
309	ニッケル化合物	0.0022	0	0	0	0	2.9
353	フタル酸ジエチル	0	0	0	0	0	1.4
400	ベンゼン	5.1	0	0	0	0	0
405	ほう素化合物	0	2.5	0	0	0	0
406	ポリ塩化ビフェニル(PCB)	0	0	0	0	0	6.6
412	マンガン及びその化合物	0.011	1.1	0	0	0	210
453	モリブデン及びその化合物	0.0014	1.7	0	0	0	220
	小計	28.33	5.3	0	0	0	498.9
	合計		34				498.9

※ 合計にはダイオキシン類を除く

※ PRTR届出全物質(東日本製鉄所/西宮地区)：2018年度の排出および移動量はありませんでした。

## PRTR届出全物質(西日本製鉄所/倉敷地区)

(単位:t/年、ダイオキシン類はg-TEQ/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
1	亜鉛の水溶性化合物	0	9.3	0	0	0	0
31	アンチモン及びその化合物	0	0.14	0	0	0	0
33	石綿	0	0	0	0	0	0.54
53	エチルベンゼン	4	0	0	0	0	0
80	キシレン	6.2	0	0	0	0	0
87	クロム及び三価クロム化合物	0.0099	0	0	0	0	22
88	六価クロム化合物	0	0	0	0	0	0.54
144	無機シアン化合物	0	5.6	0	0	0	0
186	ジクロロメタン	9.9	0	0	0	0	0
242	セレン及びその化合物	0	0.17	0	0	0	1.9
243	ダイオキシン類	0.34	0	0	0	0	0
262	テトラクロロエチレン	1.8	0	0	0	0	0
296	1,2,4-トリメチルベンゼン	1.9	0	0	0	0	0
300	トルエン	27	0	0	0	0	0
309	ニッケル化合物	0.005	0	0	0	0	3.2
400	ベンゼン	2.4	0	0	0	0	0
405	ほう素化合物	0	9.1	0	0	0	1.7
407	ポリ(オキシエチレン)＝アルキルエーテル	0	1.6	0	0	0	0
412	マンガン及びその化合物	0.023	19	0	0	0	100
453	モリブデン及びその化合物	0	0.82	0	0	0	0
	小計	53.24	45.73	0	0	0	129.88
	合計		99				129.88

※ 合計にはダイオキシン類を除く

## PRTR届出全物質(西日本製鉄所/甲南地区)

(単位:t/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
300	トルエン	1.7	0	0	0	0	0
	小計	1.7	0	0	0	0	0
	合計		1.7				0

## PRTR届出全物質(西日本製鉄所/福山地区)

(単位:t/年、ダイオキシン類はg-TEQ/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
1	亜鉛の水溶性化合物	0	2.2	0	0	0	0
31	アンチモン及びその化合物	0	0.12	0	0	0	18
33	石綿	0	0	0	0	0	0.93
53	エチルベンゼン	30	0	0	0	0	18
80	キシレン	89	0	0	0	0	20
87	クロム及び三価クロム化合物	0.041	0	0	0	0	28
132	コバルト及びその化合物	0	0	0	0	0	0.002
186	ジクロロメタン	14	0	0	0	0	0
240	スチレン	1.2	0	0	0	0	0
243	ダイオキシン類	1.4	0	0	0	0	0
262	テトラクロロエチレン	23	0	0	0	0	0
281	トリクロロエチレン	1.1	0	0	0	0	0
296	1,2,4-トリメチルベンゼン	3.6	0	0	0	0	0.11
300	トルエン	24	0	0	0	0	0.058
302	ナフタレン	0.98	0	0	0	0	0.19
305	鉛化合物	0	0	0	0	0	180
308	ニッケル	0.0029	0	0	0	0	0
309	ニッケル化合物	0	0.55	0	0	0	25
321	バナジウム化合物	0	0	0	0	0	18
374	ふっ化水素及びその水溶性塩	0	8.8	0	0	0	0
400	ベンゼン	7.4	0	0	0	0	0
405	ほう素化合物	0	1.5	0	0	0	1.8
412	マンガン及びその化合物	0.021	4.8	0	0	0	140
453	モリブデン及びその化合物	0.0001	0.22	0	0	0	0
	小計	194.35	18.19	0	0	0	450.09
	合計		213				450.09

※ 合計にはダイオキシン類を除く

PRTR届出全物質(知多製造所)

(単位:t/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
1	亜鉛の水溶性化合物	0	0.041	0	0	0	0
53	エチルベンゼン	31	0	0	0	0	0
80	キシレン	35	0	0	0	0	0
83	クメン	1.1	0	0	0	0	0
87	クロム及び三価クロム化合物	0	0.15	0	0	0	0.2
240	スチレン	8.8	0	0	0	0	0
296	1,2,4-トリメチルベンゼン	1.4	0	0	0	0	0
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	4.2	0	0	0	0	0
300	トルエン	7.3	0	0	0	0	0
309	ニッケル化合物	0	0.036	0	0	0	2.5
384	1-プロモプロパン	2	0	0	0	0	0
392	n-ヘキサン	0.0059	0	0	0	0	0
405	ほう素化合物	0	0.79	0	0	0	0
412	マンガン及びその化合物	0	0.17	0	0	0	12
453	モリブデン及びその化合物	0	0.24	0	0	0	0.078
小計		90.81	1.43	0	0	0	14.78
合計		92				14.78	

PRTR届出全物質(仙台製造所)

(単位:t/年、ダイオキシン類はg-TEQ/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
87	クロム及び三価クロム化合物	0	0	0	7.2	0	12
243	ダイオキシン類	0.71	0	0	0	0	0
305	鉛化合物	0	0	0	0	0	120
412	マンガン及びその化合物	0	0	0	0	0	75
小計		0	0	0	7.2	0	207
合計		7.2				207	

※ 合計にはダイオキシン類を除く

## ● グループ会社のPRTR届出全物質

### JFEロックファイバー

(単位：t/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
277	トリエチルアミン	0.89	0	0	0	0	0
349	フェノール	6.5	0	0	0	0	0
411	ホルムアルデヒド	3.7	0	0	0	0	0
	小計	11	0	0	0	0	0
	合計	11				0	

### 水島合金鉄

(単位：t/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
87	クロム及び三価クロム化合物	0	0	0	0	0	3.7
405	ほう素化合物	0.008	0	0	0	0	3.2
412	マンガン及びその化合物	5.7	0	0	0	0	3,600
	小計	5.71	0	0	0	0	3,607
	合計	6				3,607	

### JFEマテリアル

(単位：t/年、ダイオキシン類はg-TEQ/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
1	亜鉛の水溶性化合物	0	0.028	0	0	0	0
87	クロム及び三価クロム化合物	0.26	0.042	0	0	0	170
88	六価クロム化合物	0	0.021	0	0	0	0
242	セレン及びその化合物	0	0.1	0	0	0	0
243	ダイオキシン類	0.000034	0.000002	0	0	0	0.00027
305	鉛化合物	0	0.006	0	0	0	0
309	ニッケル化合物	0.001	0.028	0	0	0	6.9
321	バナジウム化合物	0.004	0.44	0	0	0	17
374	ふっ化水素及びその水溶性塩	0	0.95	0	0	0	0
405	ほう素化合物	0	0.54	0	0	0	0
412	マンガン及びその化合物	0	0.67	0	0	0	0
453	モリブデン及びその化合物	0.001	1.7	0	0	0	3.5
	小計	0.266	4.53	0	0	0	197
	合計	5				197	

※ 合計にはダイオキシン類を除く

### JFE精密

(単位：t/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
87	クロム及び三価クロム化合物	0	0	0	0	0	0.0015
186	ジクロロメタン	0	0	0	0	0	0.003
308	ニッケル	5	0	0	0	0	0.98
453	モリブデン及びその化合物	0	0	0	0	0	0.004
	小計	5	0	0	0	0	0.989
	合計	5				0.989	

JFE条鋼

(単位：t/年、ダイオキシン類はg-TEQ/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
87	クロム及び三価クロム化合物	0	0	0	0	0	48
243	ダイオキシン類	2,332	0	0	0	0	0
305	鉛化合物	0	0	0	0	0	259
412	マンガン及びその化合物	0	0.01	0	0	0	1,649
	小計	0	0.01	0	0	0	1,956
	合計	0.01				1,956	

※ 合計にはダイオキシン類を除く

JFE建材

(単位：t/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
53	エチルベンゼン	9.5	0	0	0	0	0
80	キシレン	31.5	0	0	0	0	0
87	クロム及び三価クロム化合物	0	0	0	0	0	0.66
132	コバルト及びその化合物	0	0	0	0	0	0.15
272	銅水溶性塩	0	0	0	0	0	0.25
296	1,2,4-トリメチルベンゼン	9.4	0	0	0	0	0
309	ニッケル化合物	0	0	0	0	0	0.36
374	ふっ化水素及び水溶性塩	0	0	0	0	0	0.5
405	ほう素化合物	0	0	0	0	0	4.8
412	マンガン及びその化合物	0	0	0	0	0	0.22
	小計	50	0	0	0	0	6.94
	合計	50				6.94	

JFE建材フェンス

(単位：t/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
1	亜鉛の水溶性化合物	0	0	0	0	0	0.97
291	1,3,5-トリス(2,3-エポキシプロピル)-1,3,5-トリアジン-2,4,6(1H,3H,5H)-トリオン	0	0	0	0	0	0.63
	小計	0	0	0	0	0	1.6
	合計	0				1.6	

JFE鋼板

(単位：t/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
53	エチルベンゼン	2.1	0	0	0	0	4.8
80	キシレン	4.14	0	0	0	0	26
83	クメン	0.003	0	0	0	0	0.017
87	クロム及び三価クロム	0	0	0	0	0	0.57
88	六価クロム化合物	0	0.0037	0	0	0	1.6
296	1,2,4-トリメチルベンゼン	0.5	0	0	0	0	2.3
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	0.4	0	0	0	0	1.3
300	トルエン	0.2	0	0	0	0	31
302	ナフタレン	0.1	0	0	0	0	0.2
305	鉛化合物	0	0	0	0	0	0.06
309	ニッケル化合物	0.017	0	0	0	0	0.033
354	フタル酸ジ-ノルマル-ブチル	0.03	0	0	0	0	0.14
411	ホルムアルデヒド	0.03	0	0	0	0	0.15
	小計	7.41	0.0037	0	0	0	68
	合計	7.42				68	

JFEコンテナ

(単位:t/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
1	亜鉛の水溶性化合物	0	0.014	0	0	0	0.292
53	エチルベンゼン	41	0	0	0	0	9
80	キシレン	82	0	0	0	0	20
296	1,2,4-トリメチルベンゼン	20.8	0	0	0	0	3.85
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	4.1	0	0	0	0	0.74
300	トルエン	15.6	0	0	0	0	19
411	ホルムアルデヒド	1.5	0	0	0	0	0.7
	小計	164	0.014	0	0	0	54
	合計	165				54	

JFE溶接鋼管

(単位:t/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
262	テトラクロロエチレン	1.3	0	0	0	0	0
	小計	1.3	0	0	0	0	0
	合計	1.3				0	

JFE大径鋼管

(単位:t/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
80	キシレン	0.1	0	0	0	0	0.1
300	トルエン	0.6	0	0	0	0	0.6
448	メチレンビス(4,1-フェニレン)=ジイソシアネート	0	0	0	0	0	0.4
	小計	0.7	0	0	0	0	1.1
	合計	0.7				1.1	

ガルバテックス

(単位:t/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
1	亜鉛の水溶性化合物	0.13	0.018	0	0	0	89
75	カドミウム及びその化合物	0.0004	0.0001	0	0	0	0.025
305	鉛化合物	0.028	0.0001	0	0	0	0.4
	小計	0.158	0.0182	0	0	0	89
	合計	0.177				89	

JFE継手

(単位:t/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
281	トリクロロエチレン	8	0	0	0	0	0
	小計	8	0	0	0	0	0
	合計	8				0	

## JFEテクノワイヤ

(単位:t/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
304	鉛	0	0	0	0	0	0.15
	小計	0	0	0	0	0	0.15
	合計	0				0.15	

## ジェコス

(単位:t/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
80	キシレン	0.13	0	0	0	0	3
412	マンガン及びその化合物	0.19	0	0	0	0	622
	小計	0.32	0	0	0	0	625
	合計	0.32				625	

## JFEケミカル

(単位:t/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
15	アセナフテン	0.008	0	0	0	0	0
53	エチルベンゼン	0.497	0	0	0	0	0
80	キシレン	1.17	0	0	0	0	0
81	キノリン	0.005	0	0	0	0	0
86	クレゾール	0.116	0	0	0	0	0
190	ジシクロペンタジエン	0.022	0	0	0	0	0
240	スチレン	0.521	0	0	0	0	0
296	1,2,4-トリメチルベンゼン	0.044	0	0	0	0	0
300	トルエン	1.56	0	0	0	0	0
302	ナフタレン	1.12	0	0	0	0	0
321	バナジウム化合物	0	0	0	0	0	1.12
340	ビフェニル	0.023	0	0	0	0	0
349	フェノール	0.141	0	0	0	0	0
400	ベンゼン	4.47	0	0	0	0	0.011
438	メチルナフタレン	0.057	0	0	0	0	0
453	モリブデン及びその化合物	0	0	0	0	0	0.71
	小計	9.75	0	0	0	0	1.84
	合計	9.75				1.84	

## JFEミネラル

(単位:t/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
80	キシレン	0.00001	0	0	0	0	0
300	トルエン	0.042	0	0	0	0	0
308	ニッケル	0	0	0	0	0	33
309	ニッケル化合物	0	0	0	0	0	0.17
438	メチルナフタレン	0.0082	0	0	0	0	0
	小計	0.0502	0	0	0	0	33
	合計	0.0502				33	

## ケーブラシート

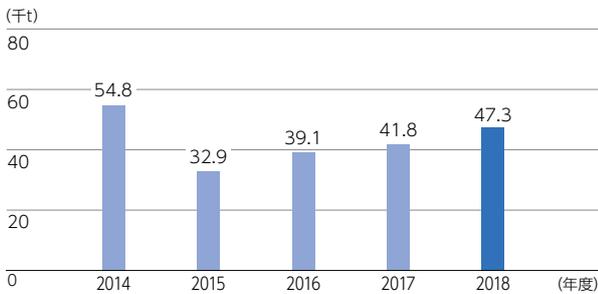
(単位:t/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
30	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩	0	0.1	0	0	0	0
	小計	0	0.1	0	0	0	0
	合計	0.1				0	

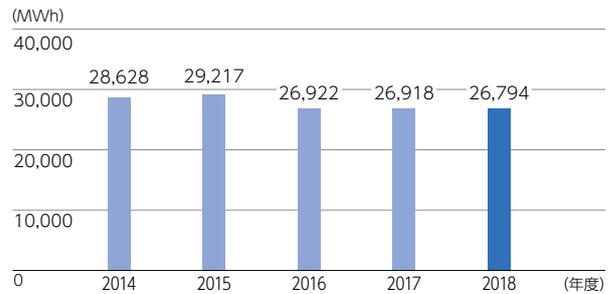
# JFEエンジニアリング

## 投入資源

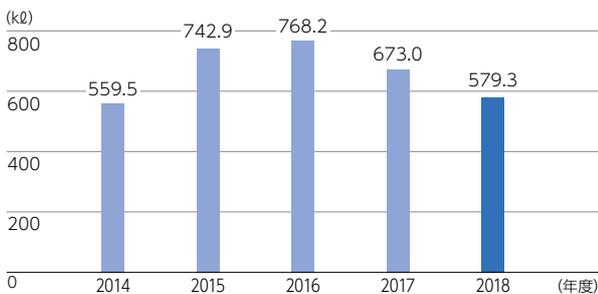
### 原材料



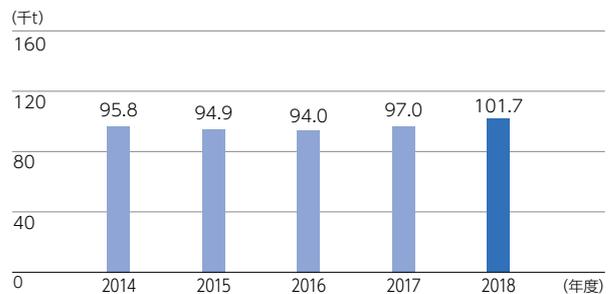
### 電力



### 重油・灯油・軽油・ガソリン



### 水



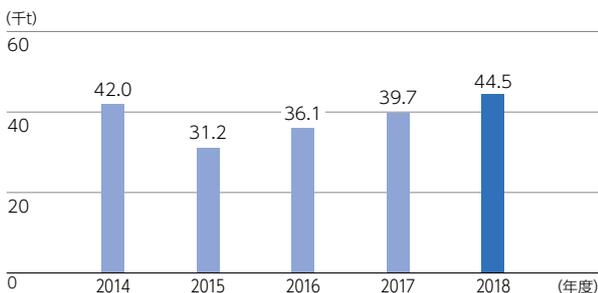
### JFEエンジニアリンググループ各社の水使用量(2018年度)

(単位: t)

会社名	使用量
J&T環境	733,862
Jファーム	24,028
東北ドック鉄工	58
富士化工	28
JFE環境サービス	26
北日本機械	6
JFEアクアサービス機器	1
合計	758,009

## 供給製品

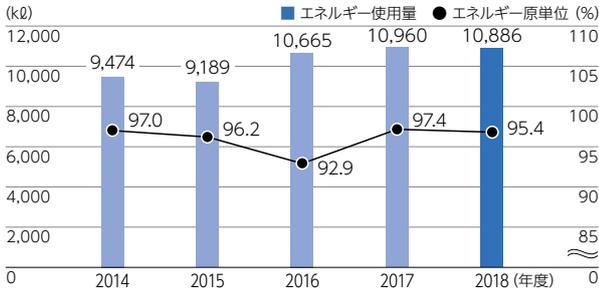
### 製品



## CO<sub>2</sub>排出量およびエネルギー使用量

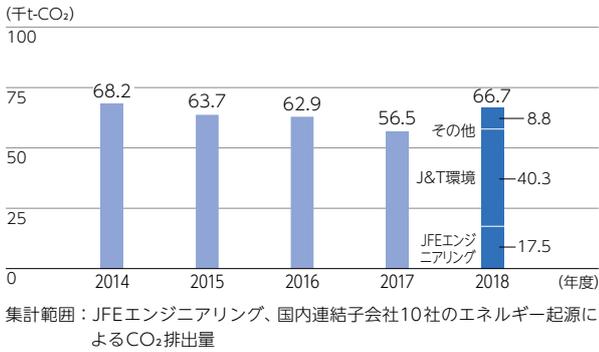
### ●単体の状況

エネルギー使用量および原単位前年度比推移



### ●グループの状況

エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量推移



JFEエンジニアリンググループ各社のエネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量(2018年度)

(単位: t-CO<sub>2</sub>)

会社名	排出量
JFEエンジニアリング	17,525
J&T環境	40,311
Jファーム	2,499
富士化工	2,208
北日本機械	1,140
東北ドック	959
JFE環境サービス	797
あすか創建	721
JFEパイプライン	320
JFEテクノス	167
JFEアクアサービス機器	4
合計	66,650

JFEエンジニアリンググループ各社のエネルギー使用量(2018年度)

(単位: GJ)

会社名	エネルギー使用量
JFEエンジニアリング	421,923
J&T環境	745,524
Jファーム	46,055
富士化工	44,401
北日本機械	19,280
東北ドック	17,836
あすか創建	12,216
JFE環境サービス	11,727
JFEパイプライン	4,920
JFEテクノス	2,815
JFEアクアサービス機器	75
合計	1,326,772

## 環境負荷低減技術

### 再生可能エネルギー関連プラントによるCO<sub>2</sub>削減貢献相当量

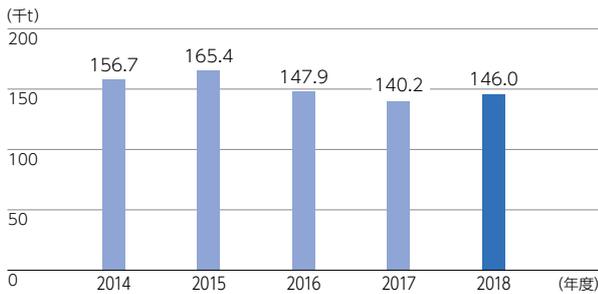
その他(バイオガス、地熱、太陽光、風力) 47



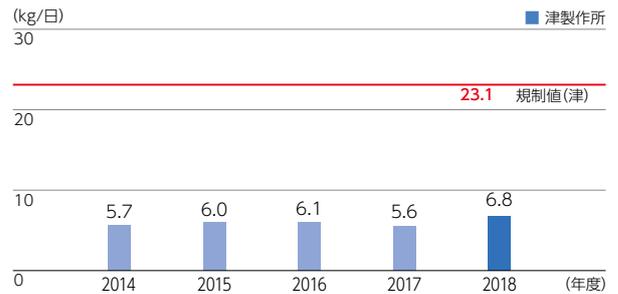
## 排出物

### ● 水域への排出

#### 排水



#### 公共水域への排水におけるCOD (化学的酸素要求量)の推移



※ 年間の最大値を報告しています。

## 化学物質管理

### PRTR届出物質の排出量・移動量推移



集計範囲：JFEエンジニアリングの国内連結子会社4社

PRTR届出全物質(全社)

(単位:t/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
53	エチルベンゼン	32	0	0	0	0	1.7
80	キシレン	59.4	0	0	0	0	3.1
87	クロム及び三価クロム化合物	0	0	0	0	0	1.4
240	スチレン	1.1	0	0	0	0	0.1
296	1,2,4-トリメチルベンゼン	4.6	0	0	0	0	0.2
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	0.6	0	0	0	0	0
300	トルエン	49.2	0	0	0	0	3.9
309	ニッケル化合物	0	0	0	0	0	3.3
355	フタル酸ビス(2-エチルヘキシン)	0	0	0	0	0	0.1
412	マンガン及びその化合物	0	0	0	0	0	13.3
448	メチレンビス(4,1-フェニレン)=ジイソシアネート	0	0	0	0	0	0.5
合計		146.9	0	0	0	0	27.7
		146.9				27.7	
		174.6					

PRTR届出全物質(横浜本社(旧鶴見製作所))

(単位:t/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
53	エチルベンゼン	0.01	0	0	0	0	0
240	スチレン	1.1	0	0	0	0	0.13
300	トルエン	20	0	0	0	0	2.4
355	フタル酸ビス(2-エチルヘキシン)	0	0	0	0	0	0.13
412	マンガン及びその化合物	0	0	0	0	0	0.66
448	メチレンビス(4,1-フェニレン)=ジイソシアネート	0	0	0	0	0	0.45
合計		21.1	0	0	0	0	3.8
		21.1				3.8	
		24.9					

PRTR届出全物質(津製作所)

(単位:t/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
53	エチルベンゼン	32	0	0	0	0	1.7
80	キシレン	59.4	0	0	0	0	3.1
87	クロム及び三価クロム化合物	0	0	0	0	0	1.4
296	1,2,4-トリメチルベンゼン	4.6	0	0	0	0	0.24
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	0.63	0	0	0	0	0.033
300	トルエン	29.2	0	0	0	0	1.5
309	ニッケル化合物	0	0	0	0	0	3.3
412	マンガン及びその化合物	0	0	0	0	0	12.6
合計		125.8	0	0	0	0	23.9
		125.8				23.9	
		149.7					

## ● グループ会社のPRTR届出全物質

### J&T環境(旧ジャパンリサイクル分を含む)

(単位：t/年、ダイオキシン類はg-TEQ/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
243	ダイオキシン類	0.00115	0	0	0	0	3.7
	小計	0	0	0	0	0	0
	合計		0			0	

※ 合計にはダイオキシン類を除く

### 富士化工株式会社

(単位：t/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
240	スチレン	19.1	0	0	0	0	0.75
265	テトラヒドロメチル無水フタル酸	0	0	0	0	0	0.034
415	メタクリル酸	0.23	0	0	0	0	0.0048
	小計	19.3	0	0	0	0	0.8
	合計		19.3			0.8	

### 東北ドック鉄工株式会社

(単位：t/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
53	エチルベンゼン	8.9	0	0	0	0	1.6
80	キシレン	14.5	0	0	0	0	2.6
87	クロム及び三価クロム化合物	0.0021	0	0	0	0	0.051
300	トルエン	3.4	0	0	0	0	0.6
309	ニッケル化合物	0.00048	0	0	0	0	0.0043
412	マンガン及びその化合物	0.0061	0	0	0	0	0.046
	小計	26.8	0	0	0	0	4.9
	合計		26.8			4.9	

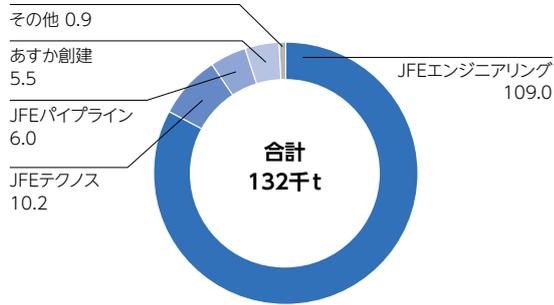
### 北日本機械株式会社

(単位：t/年)

政令番号	物質名	排出量				移動量	
		大気	水域	土壌	所内埋立	下水道	所外
53	エチルベンゼン	5.3	0	0	0	0	0
80	キシレン	5.9	0	0	0	0	0
300	トルエン	1.1	0	0	0	0	0
	小計	12.3	0	0	0	0	0
	合計		12.3			0	

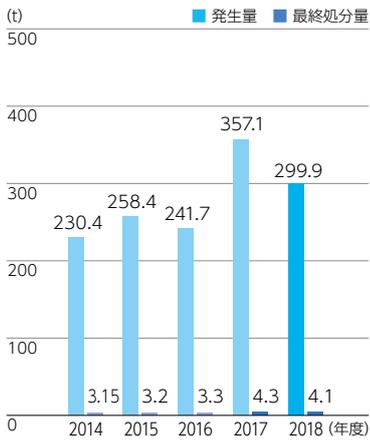
各部門・事業所ごとの廃棄物発生・処分状況

● エンジニアリンググループの廃棄物発生量



● オフィス部門

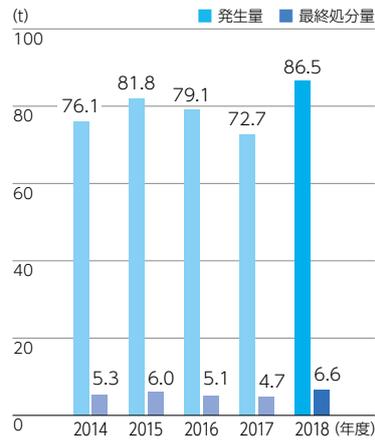
横浜本社



(単位: %)

	2014	2015	2016	2017	2018
リサイクル率 (目標)	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0
リサイクル率 (実績)	98.5	98.7	98.5	98.7	98.5

津製作所

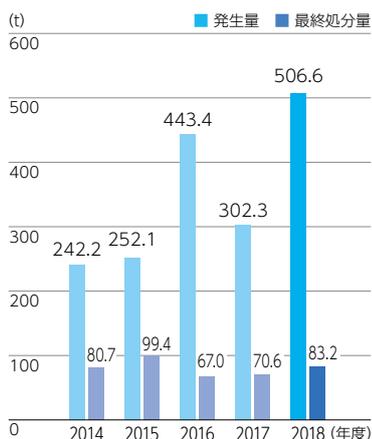


(単位: %)

	2014	2015	2016	2017	2018
リサイクル率 (目標)	92.0	92.0	92.0	92.0	90.0
リサイクル率 (実績)	87.4	91.5	88.9	89.0	85.2

## ●生産部門

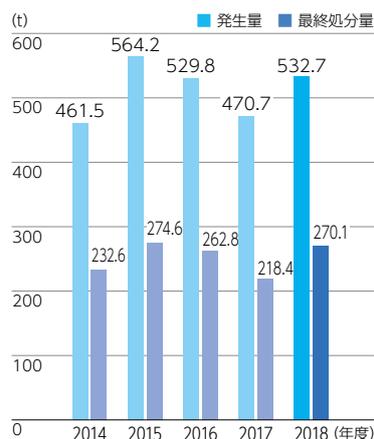
### 鶴見製作所



(単位: %)

	2014	2015	2016	2017	2018
リサイクル率 (目標)	58.0	58.0	58.0	55.0	58.0
リサイクル率 (実績)	57.5	49.8	78.9	61.0	68.7

### 津製作所

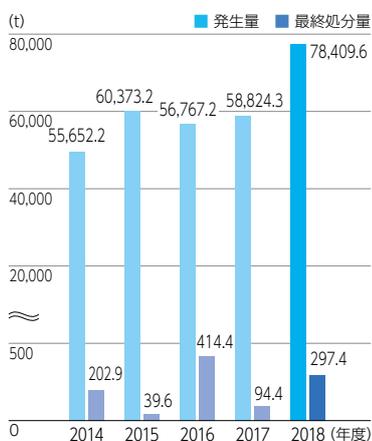


(単位: %)

	2014	2015	2016	2017	2018
リサイクル率 (目標)	30.0	31.0	31.0	31.0	31.0
リサイクル率 (実績)	33.9	34.0	32.5	37.0	32.1

## ●工事部門

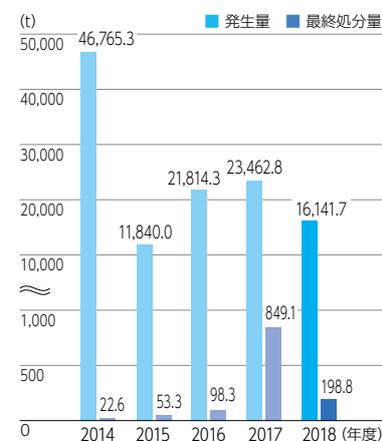
### がれき



(単位: %)

	2014	2015	2016	2017	2018
リサイクル率 (目標)	99.5	99.5	99.5	99.5	99.5
リサイクル率 (実績)	99.6	99.9	99.3	99.8	99.6

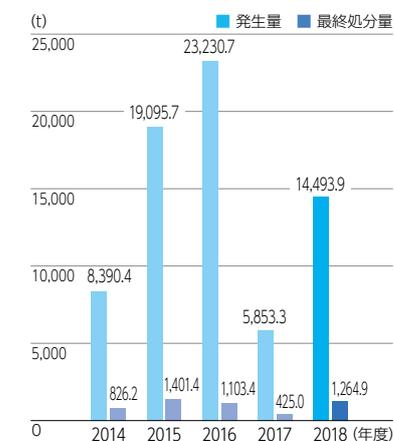
### 汚泥



(単位: %)

	2014	2015	2016	2017	2018
リサイクル率 (目標)	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
リサイクル率 (実績)	99.95	99.5	99.5	96.3	98.8

### がれき・汚泥を除く産業廃棄物



(単位: %)

	2014	2015	2016	2017	2018
リサイクル率 (目標)	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0
リサイクル率 (実績)	93.3	91.7	95.0	92.2	91.0

# JFE商事

JFEグループ

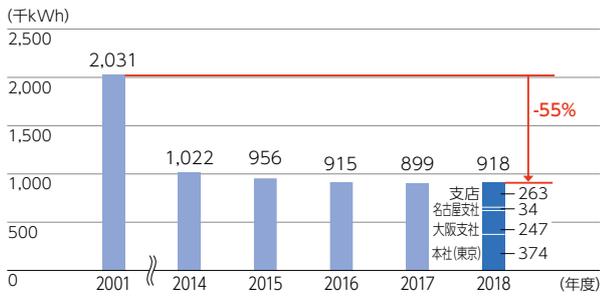
JFEスチール

JFEエンジニアリング

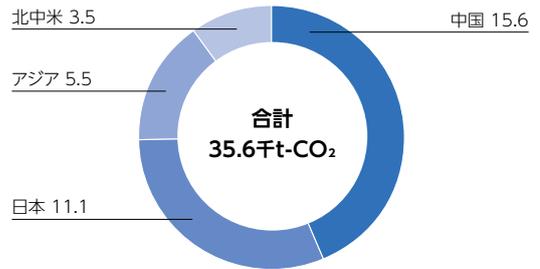
JFE商事

## 電力使用量およびCO<sub>2</sub>排出量

JFE商事の電力使用量推移



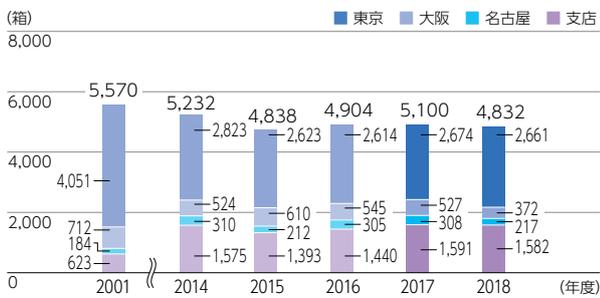
JFE商事グループのCO<sub>2</sub>排出量



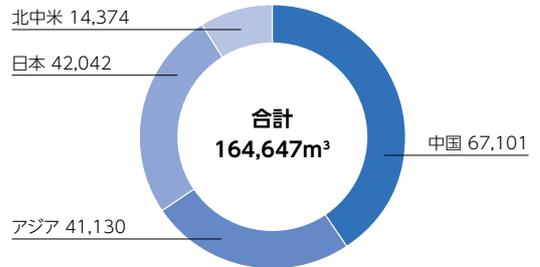
集計範囲：JFE商事、国内外鋼材加工会社33社の電力使用によるCO<sub>2</sub>排出量  
 購入電力のCO<sub>2</sub>排出係数  
 国内：電気事業者別調整後排出係数  
 海外：GHGプロトコルの各国排出係数

## 投入資源

紙(コピー用紙)使用量推移



JFE商事グループの水使用量 (m<sup>3</sup>)



集計範囲：JFE商事および国内外の鋼材加工会社33社

# 独立第三者の保証報告書



## 独立第三者の保証報告書

2019年9月25日

JFE ホールディングス株式会社  
代表取締役社長 (CEO) 柿木 厚司 殿

株式会社サステナビリティ会計事務所  
代表取締役 福島隆史



### 1.目的

当社は、JFE ホールディングス株式会社 (以下、「会社」という) からの委嘱に基づき、2018年度 JFE グループの CO<sub>2</sub> 排出量、(Scope1) 52.1 百万 t-CO<sub>2</sub>、(Scope2) 7.5 百万 t-CO<sub>2</sub>、(Scope3) 16.7 百万 t-CO<sub>2</sub>、ならびに水受入量 240 百万 t (以下「環境パフォーマンス指標」という) に対して限定的保証業務を実施した。本保証業務の目的は、環境パフォーマンス指標が、会社の定める算定方針に従って算定されているかについて保証手続を実施し、その結論を表明することにある。環境パフォーマンス指標は会社の責任のもとに算定されており、当社の責任は独立の立場から結論を表明することにある。

### 2.保証手続

当社は、国際保証業務基準 ISAE3000 ならびに ISAE3410 に準拠して本保証業務を実施した。当社の実施した保証手続の概要は以下のとおりである。

- ・算定方針について担当者への質問・算定方針の検討
- ・算定方針に従って環境パフォーマンス指標が算定されているか、試査により入手した証拠との照合並びに再計算の実施

### 3.結論

当社が実施した保証手続の結果、環境パフォーマンス指標が会社の定める算定方針に従って算定されていないと認められる重要な事項は発見されなかった。

会社と当社との間に特別な利害関係はない。

以上

# 環境省「環境報告ガイドライン2018」対照表

第1章 環境報告の基本情報						
項目	CSR報告書における記載					環境データ集掲載ページ
	ページ	項目	JFEスチール	JFEエンジニアリング	JFE商事	
1. 環境報告の基本的要件						
(1) 報告対象組織	1	編集方針	○	○	○	1
(2) 報告対象期間	1	編集方針	○	○	○	1
(3) 基準・ガイドライン等	1	編集方針	○	○	○	-
	Web	GRIスタンダード内容索引	○	○	○	-
(4) 環境報告の全体像	1	編集方針	○	○	○	-
	裏表紙		○	○	○	-
2. 主な実績評価指標の推移						
(1) 主な実績評価指標の推移	15-18	JFEグループのCSR重要課題(マテリアリティ)	○	○	○	-

第2章 環境報告の記載事項						
項目	CSR報告書における記載					環境データ集掲載ページ
	ページ	項目	JFEスチール	JFEエンジニアリング	JFE商事	
1. 経営責任者のコミットメント						
(1) 重要な環境課題への対応に関する経営責任者のコミットメント	3-4	トップメッセージ	○	○	○	-
2. ガバナンス						
(1) 事業者のガバナンス体制	19-21	CSRマネジメント	○	○	○	-
(2) 重要な環境課題の管理責任者	33-34	環境マネジメント	○	○	○	-
(3) 重要な環境課題の管理における取締役会及び経営業務執行組織の役割	33	環境マネジメント	○	○	○	-
3. ステークホルダーエンゲージメントの状況						
(1) ステークホルダーへの対応方針	33	環境マネジメント	○	○	○	-
(2) 実施したステークホルダーエンゲージメントの概要	7-10	JFEグループのバリューチェーン	○	○	○	-
	57	環境コミュニケーション	○	○	○	-
	75	ステークホルダー・エンゲージメント	○	○	○	-
4. リスクマネジメント						
(1) リスクの特定、評価及び対応方法	21	CSRマネジメント	○	○	○	-
	27-32	特集:JFEグループの気候変動問題への取り組み	○	○	○	-
(2) 上記の方法の全社的なリスクマネジメントにおける位置付け	21	CSRマネジメント	○	○	○	-
5. ビジネスモデル						
(1) 事業者のビジネスモデル	5-6	持続可能な社会を支える3つの事業	○	○	○	-
	7-10	JFEグループのバリューチェーン	○	○	○	-
6. バリューチェーンマネジメント						
(1) 事業者のガバナンス体制	7-10	JFEグループのバリューチェーン	○	○	○	-
(2) 重要な環境課題の管理責任者	35	環境マネジメント	○	○	○	-
	62	お取引先様とともに	○	○	○	-
(3) 重要な環境課題の管理における取締役会及び経営業務執行組織の役割	45-47	地球温暖化の防止	○	○	○	-
	50	大気・水環境の保全	○	○	○	-
	52	生物多様性の保全	○	○	○	-
	54-56	資源循環	○	○	○	5-6
7. 長期ビジョン						
(1) 長期ビジョン	3-4	トップメッセージ	○	○	○	-
	25-32	特集:JFEグループの気候変動問題への取り組み	○	○	○	-
	41	地球温暖化の防止	○	○	○	-
(2) 長期ビジョンの設定期間	3-4	トップメッセージ	○	○	○	-
	25-26, 28	特集:JFEグループの気候変動問題への取り組み	○	○	○	-
(3) その期間を選択した理由	41	地球温暖化の防止	○	○	○	-
	28	特集:JFEグループの気候変動問題への取り組み	○	○	○	-
41	地球温暖化の防止	○	○	○	-	
8. 戦略						
(1) 持続可能な社会の実現に向けた事業者の事業戦略	3-4	トップメッセージ	○	○	○	-
	5-6	持続可能な社会を支える3つの事業	○	○	○	-
	13-18	JFEグループのCSR重要課題(マテリアリティ)	○	○	○	-
	25-32	特集:JFEグループの気候変動問題への取り組み	○	○	○	-
41	地球温暖化の防止	○	○	○	-	
9. 重要な環境課題の特定方法						
(1) 事業者が必要な環境課題を特定した際の手順	13-14	JFEグループのCSR重要課題(マテリアリティ)	○	○	○	-
	28	特集:JFEグループの気候変動問題への取り組み	○	○	○	-
(2) 特定した重要な環境課題のリスト	15-18	JFEグループのCSR重要課題(マテリアリティ)	○	○	○	-
	29	特集:JFEグループの気候変動問題への取り組み	○	○	○	-
(3) 特定した環境課題を重要であると判断した理由	13-14	JFEグループのCSR重要課題(マテリアリティ)	○	○	○	-
	27-32	特集:JFEグループの気候変動問題への取り組み	○	○	○	-
(4) 重要な環境課題のバウンダリー	7-10	JFEグループのバリューチェーン	○	○	○	-
	13-14	JFEグループのCSR重要課題(マテリアリティ)	○	○	○	-
	28	特集:JFEグループの気候変動問題への取り組み	○	○	○	-

10. 事業者の重要な環境課題						
(1)取組方針・行動計画	2	JFEグループのCSR	○	○	○	-
	7-10	JFEグループのバリューチェーン	○	○	○	-
	15-18	JFEグループのCSR重要課題(マテリアリティ)	○	○	○	-
	25-26, 30-32	特集:JFEグループの気候変動問題への取り組み	○	○		-
(2)実績評価指標による取組目標と取組実績	15-18	JFEグループのCSR重要課題(マテリアリティ)	○	○	○	-
	23	CSRマネジメント	○	○	○	-
(3)実績評価指標の算定方法	13-14	JFEグループのCSR重要課題(マテリアリティ)	○	○	○	-
(4)実績評価指標の集計範囲	1	編集方針	○	○	○	-
	13-18	JFEグループのCSR重要課題(マテリアリティ)	○	○	○	-
(5)リスク・機会による財務的影響が大きい場合は、それらの影響額と算定方法	35-36	環境マネジメント	○	○	○	3
(6)報告事項に独立した第三者による保証が付与されている場合は、その保証報告書	78	独立第三者の保証報告書	○	○	○	30

参考資料 主な環境課題とその実績評価指標						
項目	CSR報告書における記載					環境データ集掲載ページ
	ページ	項目	JFEスチール	JFEエンジニアリング	JFE商事	
<b>1. 気候変動</b>						
温室効果ガス排出						
(1)スコープ1排出量	37-38	マテリアルフロー	○	○		7-8
	39-40, 44	地球温暖化の防止	○	○		4,10-11,23
(2)スコープ2排出量	37-38	マテリアルフロー	○	○		7-8
	39-40, 44	地球温暖化の防止	○	○	○	4,10-11, 23,29
(3)スコープ3排出量	37-38	マテリアルフロー	○	○	○	7-8
	39	地球温暖化の防止	○	○	○	4
原単位						
(1)温室効果ガス排出原単位	40,45	地球温暖化の防止	○			11
エネルギー使用量						
(1)エネルギー使用量の内訳及び総エネルギー使用量	37-38	マテリアルフロー	○			7-8
	40,44	地球温暖化の防止	○	環境データ集	○	11,23,29
(2)総エネルギー使用量に占める再生可能エネルギー使用量の割合	-					-
<b>2. 水資源</b>						
(1)水資源投入量	37-38	マテリアルフロー	○	○		7-8
	53	資源循環	○	○	環境データ集	9,22,29
(2)水資源投入量の原単位	-					-
(3)排水量	37-38	マテリアルフロー	○	○		7-8
	-		環境データ集	環境データ集		13,24
(4)事業所やサプライチェーンが水ストレスの高い地域に存在する場合は、その水ストレスの状況	53	資源循環	○			-
<b>3. 生物多様性</b>						
(1)事業活動が生物多様性に及ぼす影響	51	生物多様性の保全	○	○	○	-
(2)事業活動が生物多様性に依存する状況と程度	51	生物多様性の保全	○			-
(3)生物多様性の保全に資する事業活動	51-52	生物多様性の保全	○	○		-
(4)外部ステークホルダーとの協働の状況	52	生物多様性の保全	○	○	○	-
<b>4. 資源循環</b>						
資源の投入						
(1)再生不能資源投入量	37-38	マテリアルフロー	○			7-8
	-		環境データ集	環境データ集		9,22
(2)再生可能資源投入量	37-38	マテリアルフロー	○			7-8
	-				環境データ集	29
(3)循環利用材の量	37-38	マテリアルフロー	○			7-8
(4)循環利用率(=循環利用材の量/資源投入量)	37-38	マテリアルフロー	○	○		7-8
	54	資源循環	○	○		9-10,27-28
資源の廃棄						
(1)廃棄物等の総排出量	37-38	マテリアルフロー	○			7-8
	54	資源循環		○		13,27-28
(2)廃棄物等の最終処分量	37-38	マテリアルフロー	○	○		7-8
	54	資源循環	○	○		13,27-28
<b>5. 化学物質</b>						
(1)化学物質の貯蔵量	-					-
	37-38	マテリアルフロー	○			7-8
(2)化学物質の排出量	49	大気・水環境の保全	○	○		14-21, 24-26
	37-38	マテリアルフロー	○			7-8
(3)化学物質の移動量	49	大気・水環境の保全	○	○		14-21, 24-26
	-					-
(4)化学物質の取扱量(製造量・使用量)	-					-



**JFE**

JFEホールディングス株式会社

〒100-0011 東京都千代田区内幸町二丁目2番3号

<https://www.jfe-holdings.co.jp/>

【お問い合わせ先】

JFEホールディングス株式会社 企画部

TEL: 03-3597-4321 (大代表)

E-mail: [kankyo@jfe-holdings.co.jp](mailto:kankyo@jfe-holdings.co.jp)